

地産地消をひろげ、賑わいを作ろう

代表：嶋本 健委員

生産地と消費地が近接している東播磨地域の特性を踏まえ、地場産品を使った料理教室を開催するとともに、農業体験や生産農家との交流を通じ、地産地消の重要性をアピールします。さらに、地域特産の食材、郷土料理等に関する資料収集を行って、レシピ集としてまとめ、発行します。



地元の食材の美味しさを積極的にアピールするとともに、生産者との交流も深めていきます。

10月20日開催

「料理教室・加古川牛を味わう」

今年度最初の行事として、加古川牛を取りあげました。美味しさがはっきりと分かるようにと、スーパーで売られている肉と、加古川牛の両方でハンバーグを作りましたので、その美味しさが実感できました。市民の皆さんへのPR不足で参加者が少なかったため、行事募集にさらなる工夫が必要と感じました。

ネットワークで地域連携支援活動

代表：片山 秀昭委員

活動グループを繋ぐ取り組みで、地域の課題を解決する活動をめざします。また、人と人、ボランティア団体を繋ぐネットワークを拡充し、求められる情報をストックします。活動内容として、①青少年の健全育成をめざした「**坐禅とワークショップ**」、②東播磨の歴史と地域の人を知る「**ふるさと探訪**」、③顔の見える情報交換「**ボランティアの井戸端会議**」、④地域活動のスキルアップを図る「**ひょこお教室**」「**パソコン楽習塾**」など、地域住民や各種団体との協働活動をめざします。

人と人とのつながりや出合いを大切に活動します。



10月24日開催「坐禅とオリンピックゲームに挑戦」

「東播磨に駒音を響かそう」

代表：内藤 秀彰委員

活動目的

①「将棋を通じた青少年の育成」

以前の東播磨地域では、各市町で将棋大会を行い、その代表による東播磨地域の大会へとつづいていました。しかし、その大会も廃止となり、かわりとして、「**東播磨少年少女将棋大会**」の開催に取り組んでいます。現在では県外の方も参加される大会として知られるようになり、今後はさらなる拡大をめざします。



子どもたちに将棋を普及することにより、青少年の健全育成の力になりたいです。

②「将棋を通じたシニア世代の生きがいづくり」

団塊の世代が定年を迎えるにあたり、退職してからの生き方に注目が集まっています。仕事の多忙さゆえ、現役時代に将棋から離れていた方に、もう一度将棋を楽しむ場を設けようと考えています。そのため、シニア世代の団体間の連携の仲介を行い、横のつながりを作ることで、団体の活性化を図っていきたくと考えています。

③「青少年とシニア世代の交流の機会を作る」

①②の活動を通じて、青少年とシニア世代を一同に集めた交流の場を設けたいと考えています。さらには、青少年育成に協力いただけるシニア世代の仲間づくりをめざします。

7月21日開催「第5回東播磨少年少女将棋大会」